

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第4回 ワークショップ

模擬授業を通してソルフェージュを考える

日時：2016年9月4日(日) 14:00時開演 (13:30開場)

会場：洗足学園音楽大学 C-604 教室



茂木 真理子 (もぎ まりこ)

大阪市阿倍野区出身。4歳よりピアノを12歳よりクラリネットを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学器楽科卒業(クラリネット専攻)東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科(音楽学・ソルフェージュ専攻)修了。現在、東京藝術大学音楽学部(音楽学講座・ソルフェージュ及び音楽環境創造科)、東京音楽大学に於いて非常勤講師を務めている。クラリネットエチュード「ローズ・32のエチュード」全曲に伴奏譜を作曲し、そのCD(ALM-RECORDS)と楽譜(ALSO出版)またクラリネットエチュード「カヴァリーニ・30 キャプリス」全曲に伴奏を作曲し2枚組のCDがALM-RECORDS

より発売されている。東京クラリネットアンサンブルの委嘱により「華麗なるクラリネットアンサンブルの世界」VIIIとIXには、クラリネット五重奏曲を作曲。「樹々の調和」「楽しい農夫の主題による変奏曲」が収録されている。富山県立呉羽高等学校と八王子市立上柚木小学校の校歌を作曲。日本ソルフェージュ研究協議会理事。日本クラリネット協会会員。日本音楽著作権協会準会員。http://mogimari.main.jp/

◆ MOGIMOGI 授業

～クレの活用と移調楽器の伴奏～

私自身が移調楽器であるクラリネットの出身なので、移調楽器の読譜については、吹奏楽で楽器を持った最初からクレを使って実音での読譜をしていました。楽器の初見授業を多く持っている昨今、楽器のパート譜が読めていないピアニストの多いことが気がかかっていることの一つです。試験のため読譜訓練では無く、クレ読みを実際の音楽活動に繋げていくことができたら…といつも考えていましたので、今回は伴奏に於けるクレ活用術の模擬茂木授業を行ってみたいと思います。



伊藤 康英 (いとう やすひこ)

作曲家。代表作として、吹奏楽のための交響詩「ぐるりよぎ」が世界的に知られ、音楽の教科書の鑑賞教材としても取り上げられている。ほかに約90作の吹奏楽作品を発表。また、オペラ「ミスター・シンデレラ」など250曲の声乐作品、ピアノ連弾曲集「ぐるぐるピアノ」シリーズ、音楽之友社の高校の音楽の教科書の執筆など多分野で知られる。指揮活動として、東京佼成ウインドオーケストラなどを指揮。アジア諸国の吹奏楽の発展に尽力。また、声乐のピアノ伴奏者として、多くの声楽家と共演。東京藝術大学作曲科および同大学院修了。同大学の非常勤講師(ソルフェージュ)を20年以上務め、現在は洗足学園音楽大学教授。同大学のグリーン・タイ ウインド・アンサンブルのバンド・ディレクターを務める。著書に『メトード・ソルフェージュ』(共著)など。静岡県音楽コンクール・ピアノ部門優勝。日本音楽コンクール作曲部門賞。浜松ゆかりの芸術家顕彰、日本管打・吹奏楽学会アカデミー賞受賞など。日本ソルフェージュ研究協議会理事。ウェブサイトは www.itomusic.com。

◆これがソルフェージュ・これでもソルフェージュ

～こんな授業をしてみたい～

管楽器学生によるアンサンブルを通じての模擬授業。初見、聴音、クレ読み、スコア・リーディング、和声分析、リズム、音律といったソルフェージュの側面を踏まえて、音楽的な演奏表現を目指す。演奏のために身につけておくべきことを、限られた時間でどれだけ実践できるか、挑戦します。

▼入場料：

一般 3,000 円
学生 1,000 円
賛助会員 1,500 円
(会員無料)

一般での入場ご希望の方は、チケットを発行していませんので、開場時間～開演の間に直接受け付けにお越し下さるようお願い致します。(予約の必要はありません)

▼問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局
Tel. 090-5566-8567
E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp
http://www.ni-sol-ken.com/index.html

